東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2007 年 7 月 27 日

時間を生かすこと

親愛なるムスリムの皆様。崇高なるアッラーは、信者たち章第３節で、信者たちの重要な特徴を次のように明らかにされています。「虚しい（凡ての）ことを避け、」

大切な兄弟姉妹の皆様。今日、多くの人が、時間がないという不満を言っています。親戚を訪問したり、数ページでも本を読んだり、さらには数分でも家族とおしゃべりをしたり、子供たちと一緒にいたり、といった最も重要なことすら、「時間がない。」という言い訳でないがしろにされています。これは正しいことでしょうか？本当に時間がないのでしょうか？もし、最も重要な仕事の為に時間を見つけることができないのなら、残った時間はそれら以上に重要な仕事の為に費やしているのでしょうか？

これらの答えを一緒に考え、一日の生活を最初から点検していってみましょう。この世でも来世でも役に立たないことが、日々の生活においてどれほど時間をとっているか、確認してみましょう。そして、毎日無駄に過ぎてしまっている時間を、もう少し価値あるもののために費やせば、何を得ることができるか、生活において何が変わるかを考察してみましょう。

親愛なるムスリムの皆様。失ったものは後で取り戻すことも可能です。しかし過ぎてしまった時間は決して戻りません。特に時間というものは、私たちの特別な資本です。現世と来世のためにどれほどのものを獲得できるにしろ、その全ては私たちに与えられた限りある生の時間を費やすことによって獲得されるのです。だから、何よりも大切なこの資本をどこで費やすかに注意を払いましょう。どうして生きるのかをしり、人生において自分たちの為に短期・長期の目的を定めることができれば、時間を有効利用することによって大きな事を成し遂げることができます。

ムスリムの皆様。一日十分を費やして、毎日一つのクルアーンの節、もしくはハディースを学ぶことができます。これによって得ることができるものを、月や年の単位で考えるならば、結果として決して少なくはない量になるでしょう。また、価値のある知識を得たり、芸術分野にいそしんだり、誰かの心を獲得する為に努力したり、誰かを助けたりといったような、多くの仕事やよいことが、その短い時間を媒介として私たちの生活に組み入れられ、生活を豊かなものとするのです。

親愛なるムスリムの皆様。生きる時間という資本を、アッラーに対ししもべとして仕えるという意識を持ち、人類への奉仕のために費やしましょう。子供たち、若者たちにもこの意識を植え付けましょう。夏休みを最も価値ある形で生かすために、私たちの責任を果たしましょう。今日のフトバを、預言者ムハンマドのハディースで締めくくりたいと思います。預言者はおっしゃられました。「来世において、人間は次の五つのことについて尋問にかけられることなく、アッラーの御前から離れることはない。すなわち、生きる時間をどこで費やしたか、青年時代をどのように過ごしたか、財産をどこで手に入れ、どこで費やしたか、そして知っていることを実際に行なったかどうかである。」